(1) 平成30年12月9日(2018年) 日台稲門会 会報 通巻20号 び申し上げます。 発行され会長就任のご挨拶をすべきとこ 会長 三村 就任のご挨拶が遅れましたこと心よりお詫 ば平成二十九年度定期総会終了後に会報が 会長就任にあたり ■会長就任挨拶 会報が二年間発行されなかったため

第22回定期総会・記念講演会を挙行

国際関連の現況報告もいただいた。 の国際部事務部長・高木範夫氏から大学の の下、二〇一七年度の事業・決算・監査報告 れ、三村会長と齋藤幹事長による議事進行 会が早稲田大学三号館四階会議室で行わ ての議案が滞りなく通過した。また、大学 |〇一八年度の事業計画と予算などのすべ 去る六月九日、 第二十二回日台稲門会総

易董事長で早稲田大学台湾校友会理事の鄭 続く記念講演会も同室で行われ、世紀貿

> 題して、 に富んだお話をされた。(※下の欄に関連 わってきたご自身の経験に基づいて、示唆 文哲氏が「中小企業から拓く日台協力」と 記事を掲載しました) 経営者として日台ビジネスに携

移して行われた日台交流の集いでは、 語り合い、今後のさらなる日台交流へと思 いを馳せたのだった。 や留学生などの参加者がともに和気藹々と そうして、大隈ガーデンハウスに会場を 会員



講演する鄭文哲氏

年まで丸紅基金の事務局長を務めました。 社長などを経て、二〇〇九年から二〇一六 内鉄鋼部門、業務部、台湾丸紅有限公司副 し丸紅(株)に入社しました。丸紅では国 台湾には二〇〇三年から四年間駐在し 私は一九七五年早稲田大学法学部を卒業

達

年度定期総会

平成二十九

ある台湾企業の人々、 紅に勤務していた台湾スタッフや取引先で たと思っております。 湾人気質等をある程度理解することができ 総合商社の立場から日本と台湾のビジネス に携わってまいりました。その間、台湾丸 人々との触れ合いのなかで台湾の状況、台 台湾の街の数々の

た三村達で に就任しまし 台稲門会会長 において、日

本来であれ

早稲田大学留学生たちの所属するWTSA 後の記念講演、秋季講演会、春季講演会や との付き合い等によって台湾に対する知識 日台稲門会に入会し、定期総会

もさらに深めることができました。

与していくことを目的としています。 睦を図り、加えて早稲田大学の発展にも寄 づくりを主としながら会員・会友相互の親 が草創で、会員・会友の皆様と台湾との絆 田勉氏が「関東台湾稲門会」を結成したの 学部を卒業した台湾生まれ・台湾育ちの寺 日台稲門会は一九三七年に早稲田大学文

張っていきたいと思っています。 力を入れ、これまで以上に魅力のある日台 場や若者たちとの意見交換の場つくりにも 稲門会となるよう幹事全員一致団結して頑 に加え、会員・会友の皆様との触れ合いの 今後は、毎年実施している三回の講演会

お願いいたします。 ただきご指導、ご鞭撻のほど何卒よろしく これからも日台稲門会の趣旨をご理解い

総会記念講演会の報告

小川英郎

稲田大学台湾校友会理事の鄭文哲氏 が開催され、そのあと記念講演会として早 二〇一八年六月九日、日台稲門会の総会

貿易董事長)にご講演いただいた。

発行所: 日台稲門会事務局 東京都港区白金台

2-17-11

梶山方

達

電話:090-4453-2433 発 行 人:三村

編集人:梶山憲

り、実に説得力ある講演であった。 てこられた鄭氏の体験談を基本としてお 小企業から拓く日台協力」、内容はサブタ イトルどおり、長年日台ビジネスに携わっ 五〇名強の参加者のなか、テーマは

られ、企業家で起業者でもある鄭氏の日本 文化への愛着がよく感じられる講演であっ 化・習慣をよく理解していること等をあげ イントとして、台湾企業が日本の企業文 特に日台中小企業が上手く連携できるポ

語を習得した学生も優秀だが、採用する う!」というもの。 ならやはり早稲田大学留学経験者でしょ 面白かったご意見は、「台湾大学で日本

月の選挙をみていてほしい!」ときっぱり 英文体制について」の質問があったが「十 が、質問の一つに「最近人気下降気味の蔡 質疑応答も活発で、挙げたらキリがない

DNAのせいです」と、しっかり笑いも掴 日本人経営者」についての質問があったが んだ鄭氏であった。 回答、周囲をうならせた。 これには「台湾人が決断が早いのは台湾人 あと「決断早い台湾人経営者、決断遅い

響を受けたのは長男の世維氏。 質疑応答タイムが大幅にオーバーし、

であったが、懇親会での挨拶となった。 WTSA出身の彼は講演後半で挨拶予定

日本語で参加者の感動をよんだのである。 でWTSAの学生の前で父親より上手な が、さすがこの父親にしてこの長男あり!

回活 当会大事記

二〇一六~二〇一七年度

ここでは、会の主な活動を記録しておきます。 当会の活動は、毎月の幹事会など定例の事務的なものもありますが、 凡例/*=参加人数等 ※講師などの肩書は当時

1 二〇一六年度

(2016年4月1日~翌3月3日)

《2016年》

5月19日 (木)

第13回ゴルフ早慶戦 ★三台会(慶應義塾大学三田台湾会)との

6月18日(土) ※会報19号発行

★第20回定期総会 *会員25名 会場:早稲田奉仕園リバティホール

★記念講演会(総会と同会場) *62 来賓:早稲田大学国際部事務部長 戸枝 久郎氏

演題:台日関係の新しい展望

講師:張茂森・自由時報東京支局長

-蔡政権の一か月

★日台交流の集い *6名 会場:染谷記念国際会館

6月24日 (金) ★行政書士稲門会総会 *当会1名

★三台会との早慶交流会

10月15日 (土)

会場:早稲田イルデパン *早10名、

慶5名

★台北稲門会との懇親会

*日本からは当会のほか、遠州、太田 千代田、行政書士の各稲門会が参加

11月20日 (土)

★台湾校友会総会 *当会6名 会場:台中通豪大飯店

《2017年》

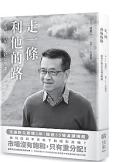
★秋季講演会 *107名 1月12日 (土)

会場:15号館2数室

講師:徐重仁・全聯實業總裁 (元統一超商總經理)

★日台交流の集い 演題:人生を変えた出会い * 89 名

会場:早稲田グッドモーニングカフェ



1月29・30日 (日・月)

3月12日 (土) ★春季講演会 *72名 **★**行政書士新年会 *当会1名

講師:朱文清・台湾文化センター長 会場:22号館508教室

▼日台交流の集い 演題:対日文化交流について * 41 名

会場:高田牧舎

化を図り、多数の学生が参加 (早稲田大学台湾留学生会) との連携 ▽日台交流の集い開催ごとにWTSA 強

| |日台関係MEMOI

《2016年

16号)が海上保安庁に拿捕される。 済水域)内で操業した台湾の漁船(東聖吉 ▼4月25日、沖ノ鳥島のEEZ(排他的経

蔡英文政権がスタート。 ▼5月20日、民進党の二度目の政権となる ▼6月3日、台湾の駐日代表処代表に、元

布され、同9日着任。 行政院長の謝長廷氏の任命が総統府から公

京で「日台海洋協力対話」が開かれた。今 ▼10月31日、4月の拿捕事件を受けて、 年1回開かれる。 東

でもあった阮美姝氏が死去。 11月28日、二二八事件の受難者で研究者

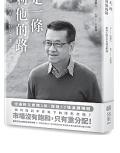


《2017年》

会」が「公益財団法人日本台湾交流協会」 ▼1月1日、日本の「公益財団法人交流協 へと名称変更。

峡をめぐる関係にも言及。 全保障レポート2017」を公表。台湾海 ▼2月2日、日本の防衛研究所が「中国安

幕式に出席。断交以後の公務で訪台した最 も高位の政府公人となった。 交流協会主催の台北での観光イベントの開 ▼3月25日、赤間二郎総務副大臣が訪台し、



刀雑感

ドラ会員

う。さらに、ジャーナリストの張茂森氏、 氏と、バランスもよかった。 ビジネスマンの徐重仁氏、文化畑の朱文清 れも印象深く、いい講演者に恵まれたと思 二〇一六年に当会で行われた講演は、ど

の卒業生なのだから。 重仁氏だろう。なんといっても、台湾の「流 通教父」と敬われ、そして何よりも早稲田 とはいえ、印象がとくに強かったのは徐



朱文清氏

そこそこだったと思う。 金は三〇万円以下。授業料だけなら十万円 当たりのGDPが約五〇〇米ドルだったそ りになる。そのころの早稲田の初年度納付 うだから大金である。日本では九〇万円余 に留学したという。当時、台湾の年間一人 三〇〇〇米ドルを与え、徐氏はそれを資金 一九七二年、徐氏の父親は、徐氏に

ばかりのように思えるのだが。 か。我が家のドラ息子では、無駄遣いする 子どもには大金を与えてみるものなの

れ、後進のの育成に当たっておられると聞 る。徐重仁氏は昨年九月に全聨総裁を退か いずれも転身する道をたどっていらっしゃ ところで、二〇一六年の講演者の方々は



1 二〇一七年度

(2017年4月1日~翌3月3日)

《2017年》

4月1日 (金)

★池井優教授講演会·早慶懇親会 *慶8名、早9名

5月12日 (金)

★三台会との第15回ゴルフ早慶戦

(※第4回は雨天中止)

6月10日 (土)

★第1回定期総会 *会員23名 場所:早稲田キャンパス2号館

地下多目的講義室

来賓:早稲田大学国際部事務部長戸枝久

★記念講演会 *58名

講師:頼浩敏・前台湾司法院院長

演題:台湾民主化後の政治権力構造と司 法制度--日台制度比較にも言及

★日台交流の集い *6名

6月2日 (木) *当会3名 会場:レストラン「森の風

★行政書士稲門会懇親会参加 会場:レストラン「森の風

7月8日 (土) ★日本台湾祭り2017 *幹事数名で日

台学生会のブースを訪問

9月30日 (土)

★三台会「日吉台地下壕見学会」

*当会幹事等3名

10月5日 (木)

★中華民國雙十國慶酒會 *1名 会場:帝国ホテル「孔雀の間」

10月21日 (土) ザインセミナーを日台稲門会若手の部が主 ★【若手社会人向け】現役HRキャリアデ ※会長療養中のため幹事長代理出席

*当会からは幹事2名

★第16回ゴルフ早慶戦

11月11日 (土) 習志野 CC キング・クイーンコース

★秋季講演会 *36名

講師:関谷元子氏(音楽評論家)

演題:台湾におけるアジアンポップスの 流れと現在

会場:22号館201教室

★交流の集い *30名

会場:22号館3階ラウンジ

章の受章はすばらしい。

関谷元子氏は、台湾のポピュラー音楽を

弘敏氏がとにかくビッグネーム。旭日大綬

で日本奨学金留学生聯誼会名誉理事長の頼

★台北稲門会との懇親会 *当会3名 場所:台北・兄弟大飯店「蘭花廳」

11月18日 (土)

★台湾校友会総会 *当会4名 会場:台北・国賓大飯店

《2018年》

1月27・28日 (土・日)

3月10日 (土) **★**行政書士稲門会新年会 *当会1名 会場:ホテルウェルシーズン浜名湖

★春季講演会 *37名

演題:アリガト謝謝― 講師:木下諄一氏(台湾在住作家) ―200億円の義

■日台関係MEMOⅡ

援金を送った台湾_

★日台交流の集い *37名 会場:2号館207教室

会場:ユニカフェ125

り、メールを発信せず) 鈴氏は、HPにお祝い関連辞退の記載があ お祝いメール発信(旭日小綬章受章の金美 ▽秋の叙勲で旭日大綬章受章の頼浩敏氏に

> 湾がTPPへの参加意欲を示したことに ▼6月26日、日本の菅義偉官房長官が、台

「歓迎したい」と述べた。

▼6月4日、在日台湾人団体「全日本台湾

連合会」(全台連)が発足。

▼5月17日、台湾の「亜東関係協会」が「台

湾日本関係協会」へと名称変更

り 稲田大学台湾留学生会)との連携強化を図 ▽日台交流の集い開催ごとにWTSA(早 多数の学生が参加

> ▼11月12日、 る蔡焜燦氏が死去。

ベトナムでのAPEC首脳会

日双光章を贈った「老台北」として知られ ▼7月17日、日台交流に尽力し、日本が旭

いっぱいで台湾文化センターを退かれ、 時報から民視へと移籍。朱文清氏は今年 年には台湾に戻られるとか。 く。張茂森氏は日本駐在のままだが、自由 来

一〇一七年度の講演者は、前司法院院長



音楽も台湾はレベルが上がり、新しいもの 最近の音楽の傾向もわかって楽しかった。 語ってくれて、なつかしいと思うとともに、

を生み出そうとしているかのようだ。

関谷元子さんとの記念写真

寄付金を集める話は実に感動的だった。ま

で女性の林翠儀氏だ。

て、当会の活動が台湾でも知られるは喜ば

い。記事を書いたのは、

張茂森氏の後継

た木下氏の講演が自由時報の記事になっ

湾の人たちが日本の被災者のために多額の 作家の木下諄一氏が台湾で取材した、台

係深化を図ることで一致した。 協力対話」が開かれた。 ▼12月19・20日、台北で第2回 「日台海洋

《2018年》

の海外の援助隊となった。 家チームを派遣。台湾側が受け入れた唯 ▼2月6日、花蓮で大規模な地震が発生。 これを受けて、日本は国際緊急援助隊専門

われた。8月14日は、 に台湾で初めてとなる慰安婦像の除幕が行 た「慰安婦記念日」。 ▼8月14日、中国国民党の台南市党部の脇 前年に韓国が制定し

像に蹴りを入れたとされ、日台ともに議論 ▼9月6日、活動家の日本人男性が慰安婦

特使・宋楚瑜氏と会談。日台が各方面で関 談の閉幕後、安倍晋三首相は、台湾の総統



頼浩敏氏

ここしばらくの活動や交流のありようを振り返ってみましょう 台湾を軸に動く日台稲門会。

台湾最近事情報告会

午後三時から定例で幹事会を開いている。 と、午後四時半から約一時間にわたって、 その九月八日(土)に開かれた幹事会のあ が開かれた。 「台湾最近事情報告会」と名づけられた会 当会では毎月(八月は休会)第二土曜の

その報告を担当したのは、今年、駐在を

り観察したりした台湾事情。根本氏の話の 者のほか一般会員三名も加わった十三名。 湾に駐在した際には台北稲門会会長も務め る。同氏は一九八一年三菱商事に入社、台 終えて帰国したばかりの根本宏児氏であ た当会の会員だ。 報告内容は、は根本氏が台湾で経験した 参加したのは、根本氏も含む幹事会出席

> となった。 ンドレスになりそうなほど盛り上がった会

は、できる限り開いていく方向だ。 る。今後、講演会などの行事がないときに けたいとの意図の下に行われた試みであ た、一般会員や会友も参加できる活動を設 この報告会は、七月の幹事会で話し合っ

誤しつつ進んでいくことになるだろう。 幅広いものが可能なはず。また、参加者数 と会場の規模など不明の点も多く、試行錯 語り合うテーマも台湾に関連があれば

加をご検討ください。 知らせします。会員・会友のみなさん、参 報告会を開く際は、事前にメール等でお

あと質疑応答および自由討論が行われ、エ

小川英郎

高堂書店」もある。

邱永漢をご存知であろうか?

でもエライが、若者は邱永漢を知らない。 て何ですか? 心臓の薬ですか?」。それは め若者は「ほとんど゛キューエイカン゛っ とお叱りを受けそうだが、WTSAをはじ 「救命丸」。キューメイガンを知ってるだけ この会報の読者からは「知ってるよ!」 当たり前だ、直木賞受賞が何せ一九五五

る。が、筆者は好きである! 小説では 『濁 はね……」という評価もはっきり言ってあ 湾および台湾人は好きだが、どうも邱永漢 資家」として有名で、日本人は金儲けした いわく「人生は旅だ」。作家としてよりも「投 台南生まれ。紆余曲折の人生を歩み、本人 年だ。受賞作は『香港』。一九二四年、台湾 人をリスペクトしたくない国民性から「台

■台湾街角コラム

台北・重慶南路学昔

梶山憲

湾を訪ねて以来、九〇年代前半はいちばん 長く過ごした場所だ。 重慶南路、そこは一九九〇年に初めて台

状況を日本と比較したいと思って、書店街 の重慶南路を歩き回っていたのだ。 は、台湾を知るに当たり、その出版や販売 数少ないが、台湾の編集者の話を聞いた 日本の出版界の端っこで働いていた私

路と呼ばれる栄町通りではなかった。しか 府の裏手に当たる新起町で、のちに重慶南 をあまり読まないともいわれていた。しか の比率が高かった。また当時、台湾人は本 集者らの給与は比較的低く、編集者は女件 は、日本の約十二分の一。人口は六分の り、出版業界誌の『出版人』などを購読し かった。この通りは特殊な場所だったのだ。 だから規模は日本に比べて小さかった。編 たりもしていた。 日本統治時代、書店が多かったのは総督 九〇年代前半、台湾の出版物の売り上げ 重慶南路で見るかぎり書店の客は多

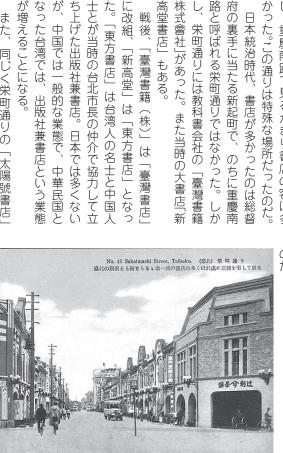
なった台湾では、出版社兼書店という業態 が、中国では一般的な業態で、中華民国と ち上げた出版社兼書店。日本では多くない が増えることになる。 士とが当時の台北市長の仲介で協力して立 た。「東方書店」は台湾人の名士と中国人 に改組、「新高堂」は「東方書店」となっ 戦後、「臺灣書籍(株)」は「臺灣書店

また、同じく栄町通りの「太陽號書店.

印書館はまだその姿を見せているが、ひっ そりとしている。 も東方書店も書籍販売の店舗はない。商務 集まった。その老闆の多くは上海人だった。 は上海から来た「商務印書館」となる。 に新しくできる出版社兼書店は重慶南路に こうした有力な書店があったため、戦後 時は流れ、現在の重慶南路には臺灣書店

ようすを重ねてみたりした。 に立って、まだ隆盛だった九〇年代前半の 私は、寂れたともいえる現在の重慶南路

進んで、台湾各地から出版物が発信され出 らだ。その原因は、いわゆる「台湾化」が 台湾文化の多様化のありようを思っていた 店本店が九五年に現在の敦化南路に移っ めたのは、九〇年代の半ばを過ぎたころか 影響の大きさといったら、かなりのものだ。 て、スタイリッシュな書店の業態を確立し 対的に落ちたこともある。そして、誠品書 たことも大きい。誠品の台湾文化に与えた 私は、凋落した重慶南路を眺めながら 重慶南路の書店街の隆盛に翳りが見え始 発信基地としての重慶南路の地位が相



日本統治時代の栄通り。のちの重慶南路

広州に在り」。 水溪』がいい。エッセイも面白い!『食は

で……」と、相談を受けた。 読んでいたら、日本香港協会の理事仲間の 大庭さんから、「懐かしいね……、 話を戻すと、筆者が久々に『濁水渓』を

さっそく当会会員で早大教授の江正殷先生 管場所を探している、というものだった。 氏の資産管理をされている邱永漢事務所 (渋谷)がリニューアルのため愛蔵書の保 に相談。江先生らしく速攻快諾! その内容は、邱氏二〇一二年の没後、

学二十二号館七一一号室に保管されたので 超盛り上がり、二〇一八年四月二十日金曜 るまで秘書をされていた美人!)と会談も 邱永漢事務所の井口室長(邱師が亡くな 邱永漢著作全二八六冊は無事早稲田大

めた『時代の証言者』をいただいた。まさ 華航空機が着陸に失敗! に波乱の人生である。たとえば一九九三年 一月、邱氏の乗った台北発、香港行き中 大庭さんから邱氏のインタビューをまと



長で当会会員の北村友雄氏もいる。 氏。実行副委員長には、以前台北稲門会会 員長は、以前当会の会長を務めた石川公弘

台会との楽し

今回が最後と考えられる。

歓迎大会実施の中心となっている実行委

きた。今回は、三村会長が来賓として登壇

面々とそのご家族など同行者を歓迎した。 し、会員四人も参加。計五人が元少年工の 迎大会が開かれるたびに、会員が参加して

当会もこの日台友好行事に賛同して、

の年齢となっており、大規模な歓迎大会は

のベトナム号で日本に来たが、その理由が は、一時プラチナチケットになったという。 するも邱氏は助かった! その座席「3A というのは、意外と知られていない……。 「||歳の娘の首にあるアザを手術するため」 当時の香港啓徳空港を外れて海上に着水 あと邱氏は、一九五四年一月に香港九龍発

り、現実には「邱永漢文庫」というコーナー いう呼称はあくまでも会報用の呼称であ なお、ここに登場する「邱永漢文庫」と

書はきっちりとあるのだ!

はない(笑)。ただ、二百八十六冊の愛蔵

で著作を借りたい方は、日台稲門会・小川 書き出すと止まらないが、邱永漢文庫



ゴルフや交流の会合を持ち回りで催し続け ているが、十月十三日の幹事会後に、 会と同様の団体・三台会(三田台湾会)と 当会は、慶応義塾大学の校友による、当 当 会

> が幹事側となって、三台会のメンバー四人 を迎えて交流の会を開いた。

学の歴史にまつわるさまざまなものを展示 学歴史館を見学した。歴史館は、早稲田大 今年三月、一号館にオープンした早稲田大 なぐあいかと思っていたのに、もっとじっ たえは想像以上。すぐさま通り抜けるよう をも感じ取れるミュージアムで、その見ご 念国際交流学生ラウンジを見学。そのあと 新三号館に設けられたハワード・ハギヤ記 交流の会としては、まず、キャンパス内の くり観たいと思ったものだった。 しているだけではなく、大学の現在と未来 当方は幹事会参加メンバー十人が参加

を語り、楽しい時間を過ごすことができた。 デパン」。たくさん飲んで食べて台湾など またの再会が楽しみである。 懇親会はおなじみのイタリアンの「イル

一の方々を歓迎



戒厳令解除後に結成されたものだ。 窓組織である。戦後も、四〇年余りを経た 廠で働いていた台湾出身の少年工たちの同 地にあった海軍航空兵器を造る高座海軍工 台湾高座会は、かつて神奈川県の高座の

めてきた。 台交流の会など、台湾との友好団体が協力 して歓迎大会を開き、日台の友好関係を温 その高座会の面々が来日すると、高座日

だった少年工の面々も、もはや九〇歳前後 高座海軍工廠で働いていたときには十代 台湾高座会留日七五周年歓迎大会である。 そして、今年十月二〇日に催されたのが

台湾づくし 参加した会合

当会の名で招待されたわけではないが、日 會に、当会の岩永康久名誉会長、三村達会 とって催される「中華民国一〇七年國慶酒 台稲門会としても何人かに挨拶もできた。 イワン会)の懇親会に、三村会長、梶山幹 ▼十月十九日、−LT会(アイ・ラブ・タ ▼十月四日、台湾の駐日代表処が音頭を 梶山憲一幹事長代行が出席。必ずしも

T」人の集まりである。 そしてジャーナリストのほか多彩な「ーし る。台湾駐在経験のある企業人やそのOB、 社長で、現在、共同通信勤務の井上山美さ 事などを務める高寛氏と、元NNA台湾支 台湾三井物産董事長で、現在、台湾協会理 事長代行、小川幹事らが出席。同会は、 んが中心になって開催している交流会であ



d

梶山憲 ちょっぴりディープに台湾体験

湾へ渡るというそんな時期だった。 理さんとはそのときが初対面。ほどなく台 み会に行ったら、片倉真理さんがいた。真 片倉佳史さんと結婚して台湾に渡っている。 政経を卒業、九九年に、当会でも講演した のごとを体験したという意味だけではない。 湾の土地や、出合うことの少ない台湾のも 験」とは、一般の旅行者があまり行かない台 その九九年、台湾好きが集まる渋谷の飲 サブタイトルにある「ディープに台湾体 著者の片倉真理さんは、一九九五年に早大

真理さんは、慣れない人たちといたため 緊張してあまり言葉を出さなかった。

9

野島剛・著

小学館

定価一五〇〇円+税

ウェッジ(定価一五〇〇円+税片倉真理・著/片倉佳史・写真

のだ。美人にはとくにそうだ。 てリラックスしてもらいたいと思ったのだ 私のおぼろげな記憶では、そんな感じだ。 固まっている真理さんに何か言葉をかけ 何も言わなかった。私は人見知りする

するのだが、真理さんのほうは、徐々に眼 かあった。私のほうは相変わらず人見知り きなど、片倉真理さんにも会う機会が何度 に輝きが増していくように思えた。 それから、台湾で片倉佳史さんと会うと

さまざまに台湾を体験している。それが 台湾への思いや理解も深まったところで 「ディープに台湾体験」のもう一つの意味だ。 この本は、「馬祖」から始まって「玉井」「鹿 真理さんの台湾暮らしもおよそ二十年。

イワニーズ 故郷喪失者の物語 野嶋剛 捨てた。 二台 度 海 な

いきなり日経新聞「読書欄」に掲載され 「日本と台湾をつなぐものは『人』である_

小川英郎

故郷喪失者の物語

と、私も強く思ったからである。 く著者の野島氏のメッセージもそこにある た福田円・法政大学教授の文を引用してし 俗にいうパクリだ。というのも、おそら 莱」の羅邦強、最後は我らが日台稲門会も かしのジュディオング、「551豚まん蓬 彼の愛蔵書文庫に関与した邱永漢を取り上

蓮舫と温又柔のつながりのクダリも面白 二重国籍で問題になった蓮舫。

受賞に備えて、コメントを準備していた。 補だった温又柔。結果落選したが、なんと 二〇一七年芥川賞発表寸前まで最有力候

られてない点があり、それに至る著者のイ 彼・彼女の台湾との繋がりが意外なほど知

にとって馴染み深い彼・彼女が登場するが

著書の『タイワニーズ』とは? 日本人

げている。

ンタビュー、調査、追跡に野島氏の熱いも

のが伝わってくる力作といえる。

芥川賞候補作家の温又柔、余貴美子から懐

具体的には、蓮舫から始まり(敬称略)

かろうと政治家になってから日本のために 「(前略) 蓮舫さん二重国籍であろうとな

> できる国というのは移民だけでなくその国 努力した(中略)移民出身の政治家が活躍 湾出身者を代表して言ってほしかった」 い、だから日本は私たちの国でもあると台 にいるあらゆる人にとっても暮らしやす

いたのが著者の野島剛氏である。 葉を直接聞いたので、上のクダリは立体的 に印象深い。なお、このとき司会をされて 文化センターで「生」の温又柔からこの言 私は二〇一七年八月七日、虎ノ門の台湾

る想像がふくらんでくるのである。 図」がついており、これがまた面白かった。 地を見ていると、またタイワニーズに対す られた人々の出身地や親族などのゆかりの ノラーメンの安藤百福、551の羅邦強。 いまは政治家の蓮舫と、本書で取り上げ エコノミストのリチャード・クー。チキ 女優の余貴美子、歌手のジュディオング。 作家の温又柔、東山彰良、陳舜臣、邱永漢。 また、本書にはタイワニーズの「故郷地

> いか、扱いの小さなところから詳しく紹介 谷」と、ガイドブックでは取り上げられな いる。そうして、台湾原住民の文化や暮ら ガイドブックとはひと味違う文章になって 籍としては破格の詳しい記事といえる。 にしても、インタビューなどを織り込んで、 し、最近は行く観光客も増えた「台南」「高雄」 しについては、旅行者を読者対象とした書

行書なので、深い触れ合いを描くのは、 合い格闘する自分のことももっと書いてほ 者をその場所に連れて行ってくれる。その 者のために抑えているのかもしれない。 とき真理さんは取材者としての立場を堅持 しているように見える。時に、台湾と向き しい、と私などは思ってしまうのだが、 これらの文章は、抑制がよく効いて、

取り上げたのもひと味違う。 ニークだ。新たな潮流「台湾スタイル」を 「台北」の紹介がいちばん最後なのもユ

だけに、日本人にも興味深いはずだ。 が二万部も売れる台湾では、いま何かが生 まれようとしている。日本とは違った潮流 ミニコミのような『小日子』という雑誌

書こうと思っていたので、片倉さんに先を 越されたようで、そこがザンネンだ(笑)。 ては以前からウォッチングしており、何か ただ、私もこの「台湾スタイル」につい

●編集後記

切れさせてしまった。 昨年は、続いてきた会報の発行を途

今年も苦戦して発行が遅くなってし 次号は、もっとスムーズに発行して

会の活動を会の内外に伝えられるよう

にしたい。

会員諸氏のご協力もお願い

よろしくお願いします。 (梶山)